

大腸 SM 癌におけるリンパ節転移を予測するためのノモグラムの構築に関する研究

1. 研究の対象

2000年1月～2017年3月に当院と下記の研究所組織で大腸癌の手術を受けられ、病理学的進達度が粘膜下層であった方

2. 研究目的・方法

大腸 SM 癌におけるリンパ節転移は約 10%であり、大腸癌治療ガイドラインでは、内視鏡治療単独治療が可能とされる低リスク群と、外科的追加切除が必要とされる高リスク群が病理学的因子により決定されているが、そのリスクは一樣ではないと思われる。今研究ではリスク因子の効果的な組み合わせにより、リンパ節転移の可能性を精度高く予測するノモグラムを構築する事を目的とする。

大腸疾患分科会の関連病院で他施設共同研究として行う。研究対象者になった症例の診療録より得られた情報を用いる。全予定症例数は800例とする。研究期間は研究機関の長の許可日から2020年3月31日とする。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

腫瘍の肉眼型、腫瘍深達度（絶対値）、リンパ節転移（病理）、脈管侵襲の有無等。

4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

大阪大学医学部附属病院 三吉範克
大阪警察病院 鄭充善
八尾市立病院 井出義人
大阪労災病院 能浦真吾
西宮市立中央病院 吉岡慎一
大阪急性期・総合医療センター 小森孝通
市立東大阪医療センター 上田正射
市立豊中病院 森田俊治
県立西宮病院 小西健
関西労災病院 賀川義規
市立吹田病院 岡村修

市立貝塚病院 岡野美穂
JCHO大阪病院 大澤日出樹

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先（研究責任者、研究代表者）：

大阪大学大学院医学系研究科外科学講座 消化器外科学
助教 三吉 範克
大阪府吹田市山田丘2-2, E-2
TEL:06-6879-3251